

## サーモユニット施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。品番によっては図と現品の形状が一部異なる場合があります。

### 対象製品

このサーモユニットはハンドル付きです。ハンドルの種類により製品番号が違いますので、お取付けの前にもう一度製品番号と対象製品番号をお確かめください。

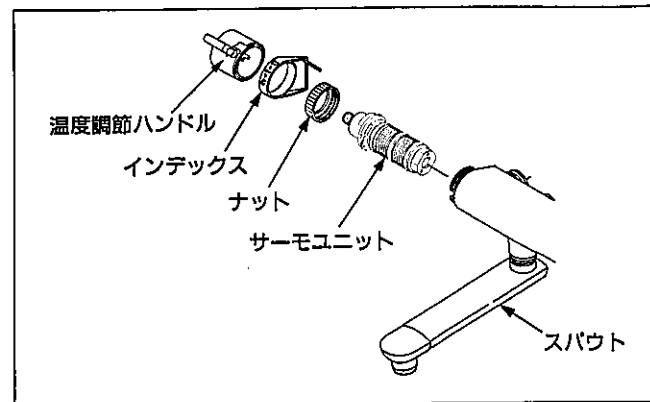
なお、サーモユニットにあわせて必ず付属のハンドルに交換してください。交換前のハンドルは使用しないでください。

#### 同梱部品

製品番号	TH576-1型	TH576-2型	TH576-3型
対象製品番号及びハンドル	TMJ40型 TMJ46型 TMJ47型 TMJ48型	TMF40型 TMF47型	TL391型 (洗面所用)
サーモユニット			

### 分解図

品番によっては図と現品の形状が一部異なる場合があります。

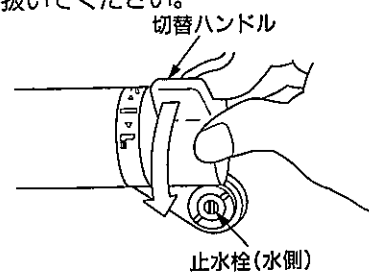


### 取替方法

#### 旧ユニットの取外し

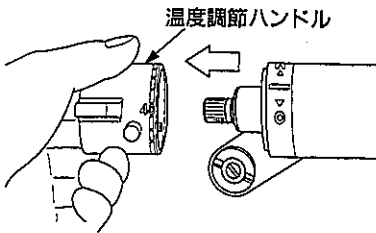
1. 止水栓(湯側・水側)を閉め、切替ハンドルをスパウト側へ回して水を抜いてください。

※止水栓のないタイプの製品は、器具手前の元バルブか又は水道メーター部の止水栓を開めてください。



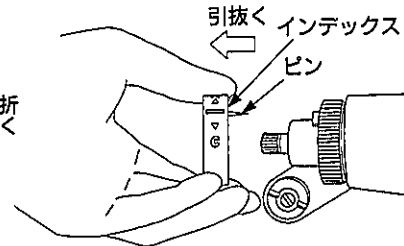
2. 温度調節ハンドルを取外してください。

※ハンドルは「はめ込式」のため、矢印の方向に強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバーを軽くたたいてください。



3. インデックスを取外してください。  
(TMJ40型、47型は(注)をご覧ください。)

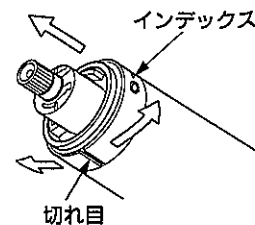
取外しの際はピンを折らないよう注意してください。



(注) TMJ40型及び47型の場合

インデックスは、はめ込み式です。インデックスは本体下側又は後下側に切れ目が入っていますので、切れ目の部分から広げるようにして取外してください。

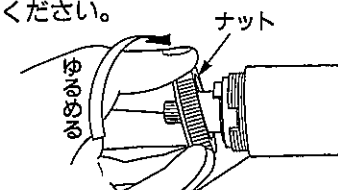
インデックスはあまり広げすぎないようにしてください。広げすぎると割れることがあります。



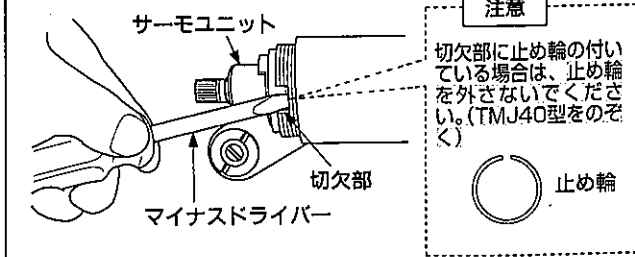
4. ナットを取外してください。

ナットは手でゆるめて取外してください。

※手でゆるまない場合は、ゴム手袋やプライヤーなどの工具を使ってゆるめてください。

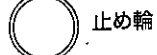


5. 切欠部にマイナスドライバーを差込み、サーモユニットを取外してください。



#### 注意

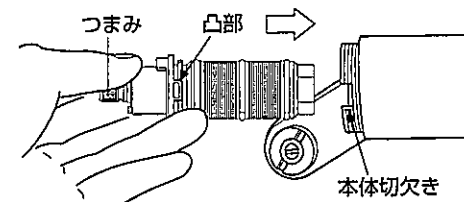
切欠部に止め輪の付いている場合は、止め輪を外さないでください。(TMJ40型をのぞく)



#### 新ユニットの仕組み

※サーモユニットは特殊組立をしておりますので、絶対に分解しないでください。

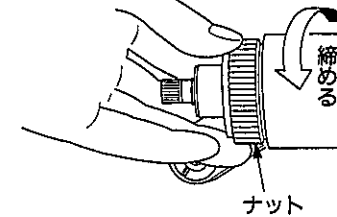
1. サーモユニットの凸部を本体の切欠きに合わせて、水栓本体に組込んでください。



※温度調節をしておりますのでつまみの部分は回さないでください。

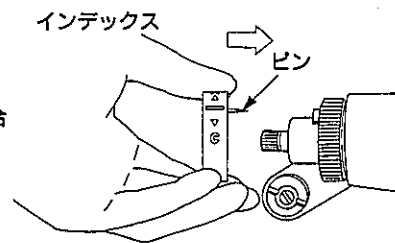
2. ナットを確実に締付けてください。

ナットは手で確実に締付けてください。



3. インデックスを取付けてください。  
(TMJ40型、47型は(注)をご覧ください。)

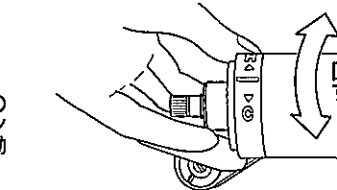
ピンを本体側の穴に合わせてください。



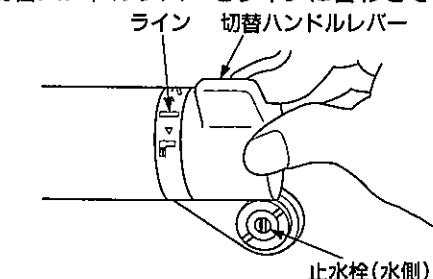
(注) TMJ40型及び47型の場合

C、Hの表示が正面になるようにインデックスを取付けたのち、インデックスを軽く回して位置合わせをしてください。

インデックスと本体の凹凸がかみ合うとインデックスは固定され動きがなくなります。



4. 切替ハンドルレバーをラインに合わせてください。

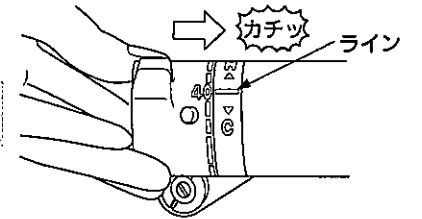


5. 止水栓(湯側・水側)を開け、カランより吐水させてください。

この時、各部から漏れがないことを確認してください。  
※止水栓のないタイプの製品は、器具手前の元バルブ又は水道メーター部の止水栓を開けてください。

6. 目盛の“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。この時ハンドルが簡単に抜けないことを確認してください。

※ハンドルは必ず同梱のものを使用してください。

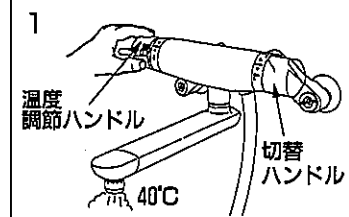


### 温度調節

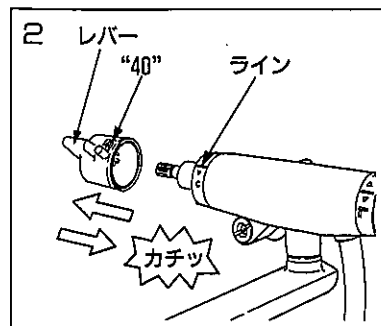
工場でおよそ40℃の湯がでるように温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛どりの吐水温度にならない場合がありますので必ず次の要領で調節してください。

調節する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓は全開になっているか。
- フィルターのごみづまりはないか。
- 常用給湯温度(50℃以上)の湯がきているか。



切替ハンドルを回してカランより吐水させ、温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40℃の湯が出るまで回してください。



温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜取ってください。  
※ハンドルははめ込式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、レバーを傷が付かないように軽くたたいてください。

目盛の“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。